

IV 品目別の生産動向

1 生産状況



品 目	収 穫 量 飼 養 頭 羽 数	全国に占める 割 合	全国における 地 位	九州における 地 位	資 料
水 稲	80,400 t	1.1 %	29 位	5 位	令和6年産作物統計
さ つ ま い も	218,300 t	30.4 %	1 位	1 位	
さ と う き び	517,300 t	43.8 %	2 位	1 位	令和5年産作物統計
茶（荒茶）	27,000 t	36.5 %	1 位	1 位	令和6年産作物統計
葉 た ば こ	526 t	6.0 %	7 位	4 位	全国たばこ耕作組合中央会 令和5年産
だ い こ ん	94,500 t	8.3 %	4 位	1 位	令和5年産 作物統計
ば れ い し ょ	83,900 t	3.5 %	3 位	2 位	
さ と い も	6,600 t	5.2 %	6 位	2 位	
か ぼ ち ゃ	7,730 t	4.8 %	2 位	1 位	
ピ ー マ ン	12,300 t	8.5 %	4 位	2 位	
さ や い ん げ ん	2,040 t	6.6 %	4 位	1 位	
さ や え ん ど う	3,200 t	19.2 %	1 位	1 位	
そ ら ま め	1,750 t	15.4 %	2 位	1 位	
オ ク ラ	5,420 t	48.8 %	1 位	1 位	
スナップえんどう	3,080 t	52.3 %	1 位	1 位	
み か ん	12,400 t	1.8 %	12 位	5 位	令和5年産作物統計
び わ	159 t	7.3 %	3 位	2 位	令和6年産作物統計
マ ン ゴ ー	398 t	9.9 %	3 位	2 位	令和3年産特産果樹 生産動態等調査
切 り 花 類	117,200 千本	3.9 %	8 位	2 位	令和5年産 作物統計
球 根 類	16,100 千球	23.6 %	1 位	1 位	
肉 用 牛	362,700 頭	13.6 %	2 位	1 位	令和6年畜産統計
黒 毛 和 種	348,700 頭	18.8 %	1 位	1 位	
乳 用 牛	12,600 頭	1.6 %	13 位	4 位	
豚	1,200,000 頭	13.6 %	1 位	1 位	
採 卵 鶏	10,196 千羽	6.0 %	3 位	1 位	
ブ ロ イ ラ ー	32,003 千羽	22.1 %	1 位	1 位	

※茶（荒茶）、葉たばこは生産量、花きは出荷量

※「九州における地位」に沖縄県は含まない。

2 最近の情勢と今後の推進方向

(1) 米（需要に応じた売れる米づくり）

●最近の情勢（作付面積，収穫量）

- 令和6年産水稻（主食用，加工用，米粉用等）の作付面積は17,100haで，収穫量は80,400トンとなっています。そのうち主食用米の作付面積は15,600haで，稲作農家の減少や高齢化等により，年々，減少傾向にあります。
- 令和6年産の水稻の作柄は，作況指数97の「やや不良」，10a当たり収量は470kgでした。
- 令和6年産の品種別では，普通期水稻「ヒノヒカリ」の栽培が最も多く，次いで「あきほなみ」（普通期），「コシヒカリ」（早期）となっています。「あきほなみ（県北産）」は，（一財）日本穀物検定協会が実施する「米の食味ランキング」において最高評価の「特A」を10回獲得するなど，高い評価を受けています。

●農業産出額

令和5年は173億円で，農業産出額全体の3.2%となっています。

●主要産地

早期水稻は県本土南部と熊毛地域，普通期水稻は県本土中北部地域となっています。

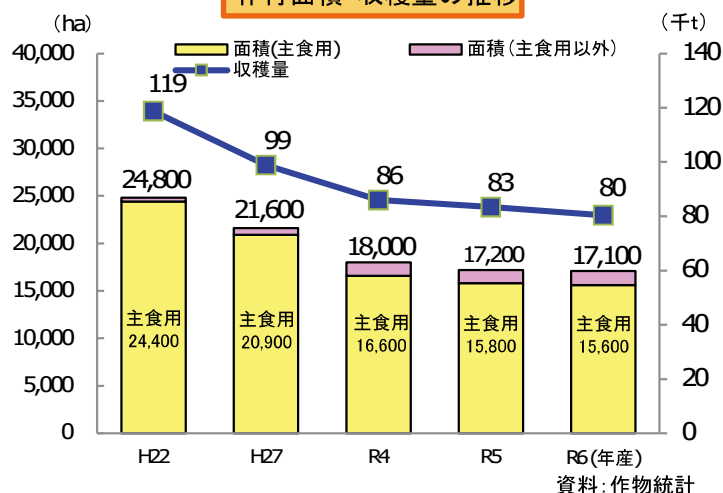
●今後の推進方向

県育成の収量・食味に優れた「あきほなみ」，「あきの舞」及び「なつほのか」等の作付拡大による需要に応じた売れる米づくりを推進するとともに，加工用米や飼料用米等の生産拡大，野菜等の高収益作物の導入・定着など水田のフル活用に努め，稲作農家の経営安定と生産性の高い水田農業の確立に取り組みます。

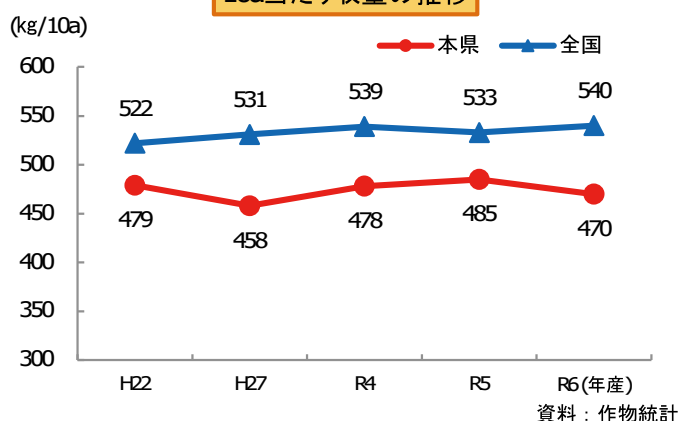


広がる水田地帯

作付面積・収穫量の推移

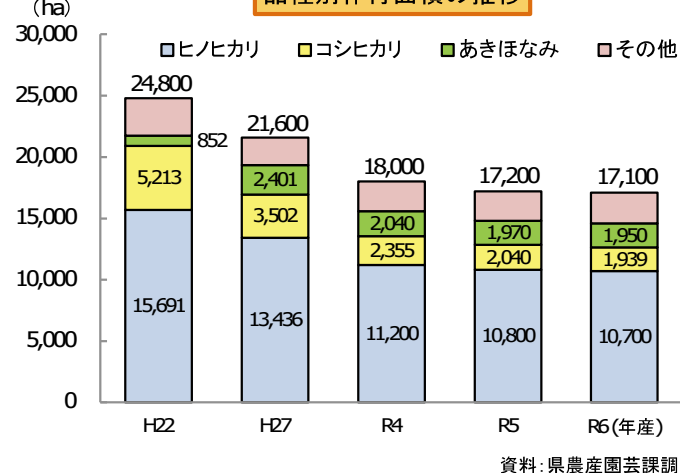


10a当たり収量の推移



品目別の生産動向

品種別作付面積の推移



(2) さつまいも（用途別需要に応じた計画的な生産）

●最近の情勢（作付面積、生産量）

- ① 令和6年産の作付面積は9,490haで、全国（31,800ha）の30%を占め、全国第1位を誇っています。
- ② 令和6年産は、作付面積が減少したものの、病害の発生が少なかったこと等により、生産量は218,300tと前年を上回り、また、10a当たりの収量は2,300kg（前年比105%）となりました。
- ③ さつまいもは、でん粉、焼酎、青果、食品加工用など幅広く利用されており、さつまいもの生産量のうち約5割が焼酎用、約2割がでん粉用に用いられています。

●農業産出額

令和5年は195億円で、農業産出額全体の3.6%となっています。

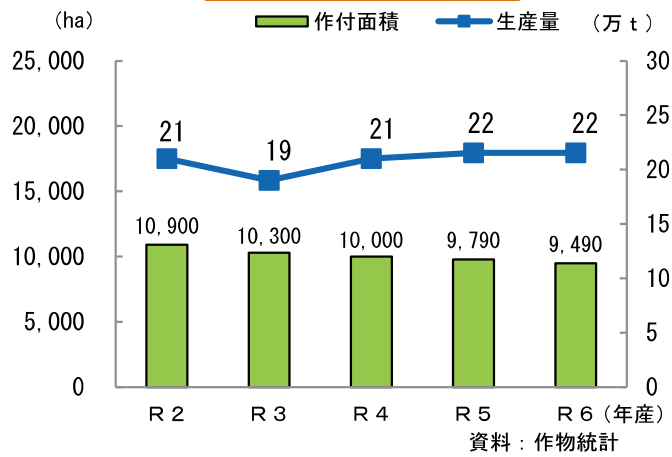
●主要産地

大隅地域、南薩地域、熊毛地域などとなっています。

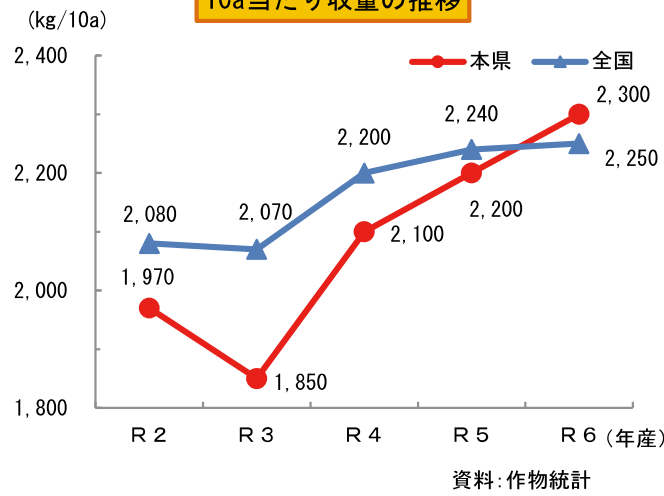
●今後の推進方向

用途別需要量に応じた計画的な生産を進めるとともに、「サツマイモ基腐病」対策の実施による単収向上や、省力機械の導入等による生産性向上を推進します。

作付面積・生産量の推移



10a当たり収量の推移



用途別の作付面積・生産量

(単位: ha, t, %)



普通畑の約15%に作付けされる
さつまいも

	でん粉用		焼酎用		その他 (青果・食品加工用等)		計	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
R 4	2,490	53,500	4,617	98,814	2,893	57,686	10,000	210,000
R 5	1,820	39,500	4,782	108,962	3,188	66,983	9,790	215,400
(構成比)	(19)	(18)	(49)	(51)	(33)	(31)	(100)	(100)
R 5/R 4	73	74	104	110	110	116	98	103

資料：作物統計（焼酎用・その他は県農産園芸課調べ）

(3) 野菜（県全体に広がりのあるブランド産地の育成）

●最近の情勢（作付面積，生産量）

- ① 令和5年産の作付面積（ばれいしょ，青果用さつまいもを含む。）は約17,123haで近年横ばいで推移しています。
- ② 令和5年産の生産量（ばれいしょ，青果用さつまいもを含む。）は約431千トンで，近年横ばい傾向で推移しています。
- ③ 近年，野菜の消費形態は外食・中食による摂取が増加傾向にあり，加工・業務用の需要が増加しています（需要割合約6割）。

●農業産出額

令和5年（ばれいしょ，青果用さつまいもを含む。）は約716億円で，農業産出額全体の13.2%となっています。

●今後の推進方向

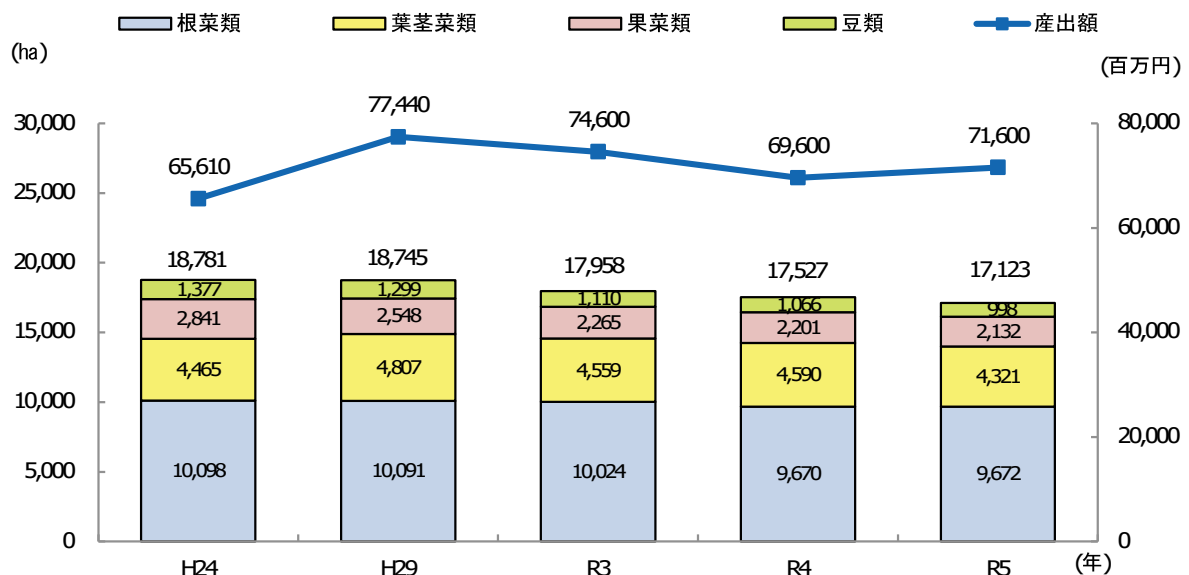
南北600kmにわたる地理的条件を生かし，安心・安全で環境との調和に配慮した野菜生産を基本に，重点品目を対象に施設化及び省力化の推進，集出荷施設等の整備を進め，高品質で安心・安全な野菜産地と加工・業務用需要に対応した野菜産地の育成に努めます。

品目別作付面積等(令和5年産)

品目名	作付面積 (ha)	生産量 (t)	全国に占める面積		主要産地
			割合 (%)	地位 (位)	
ばれいしょ	4,410	83,900	6.2	2	長島町，和泊町，伊仙町
だいこん	2,050	94,500	7.5	4	大崎町，南九州市，鹿屋市
キャベツ	1,860	72,900	5.5	5	指宿市，南九州市，鹿屋市
にんじん	667	23,100	4.1	8	南九州市，志布志市，鹿屋市
かぼちゃ	644	7,730	4.7	2	指宿市，喜界町，垂水市
ごぼう	560	6,550	8.1	3	鹿屋市，大崎町，曾於市
ねぎ	456	7,100	2.1	18	南さつま市，伊佐市，日置市
さといも	449	6,600	4.7	6	鹿屋市，曾於市，和泊町
さやえんどう	420	3,200	16.3	1	垂水市，鹿屋市，鹿児島市
オクラ	401	5,029	—	—	指宿市，南九州市，垂水市
はくさい	375	22,500	2.4	9	曾於市，志布志市，霧島市
ブロッコリー	350	3,310	2.0	13	出水市，中種子町，鹿屋市
さやいんげん	217	2,040	5.0	4	垂水市，錦江町，南大隅町
そらめめ	188	1,750	12.7	2	指宿市，出水市，枕崎市
レタス	166	4,628	—	—	指宿市，いちき串木野市，錦江町

資料：「野菜生産出荷統計調査」，県農産園芸課調べ

作付面積・産出額の推移



資料：「野菜生産出荷統計調査」，県農産園芸課調べ，
「生産農業所得統計」平成29年以降の産出額は県農産園芸課推計

(4) 果樹（地域の特性を生かした果樹ブランド産地の育成）

●最近の情勢（栽培面積・生産量）

- ① 令和4年産の栽培面積は3,319haで、年々減少しています。
- ② 令和4年産の生産量は、39,927tとなっています。

●農業産出額

令和5年は112億円で、農業産出額全体の2.1%となっています。

●今後の推進方向

適地適作を基本として、本県の優位性を発揮できるたんかん、大将季、紅甘夏、マンゴー、パッションフルーツ等の優良品目・品種への転換や、施設化の推進、園内作業道の整備、省力化機械の導入、高性能選果施設の整備、安心・安全な果実づくりの推進など、地域特性を生かした果樹ブランド産地の育成を図るとともに、果樹産地の構造改革を推進します。



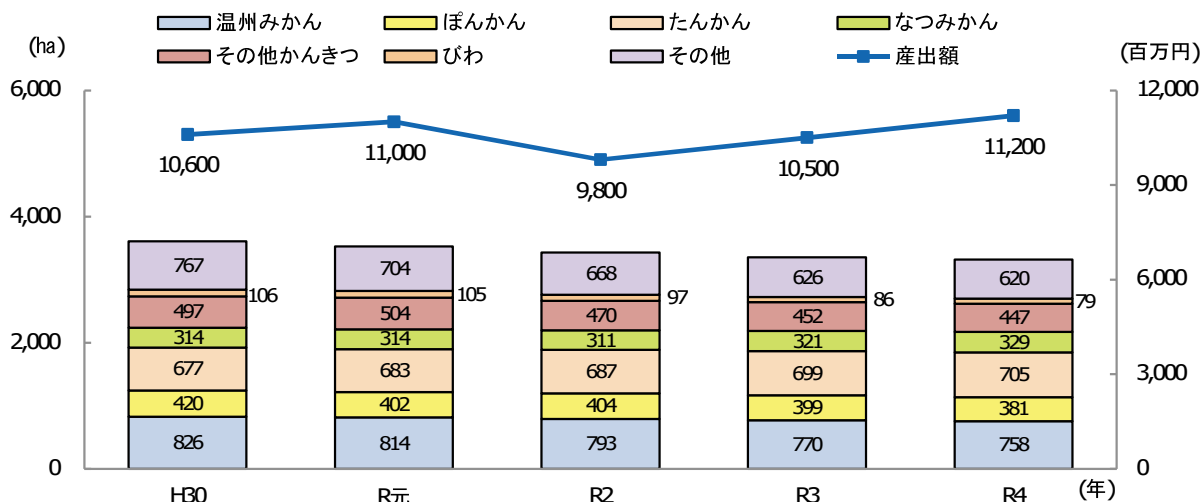
市場の期待が大きい「大将季」

品目別栽培面積等(令和4年産)

品目名	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	主要産地
温州みかん	758	15,262	出水市, いちき串木野市, 鹿児島市
ぽんかん	381	2,284	屋久島町, 南さつま市, 肝付町
たんかん	705	3,085	屋久島町, 奄美市, 徳之島町
なつみかん	329	11,015	出水市, 阿久根市, 長島町
不知火 (大将季含む)	125	1,694	出水市, 阿久根市, 長島町
きんかん	50	755	南さつま市, 薩摩川内市, 鹿児島市
びわ	79	191	鹿児島市, 垂水市, 指宿市
すもも	75	120	大和村, 奄美市, 瀬戸内町
ぶどう	72	739	霧島市, 薩摩川内市, 出水市
マンゴー	59	375	知名町, 奄美市, 和泊町
パッションフルーツ	36	310	屋久島町, 奄美市, 瀬戸内町
県計	3,319	39,927	

資料：県農産園芸課調べ

栽培面積・産出額の推移



資料：生産農業所得統計，県農産園芸課調べ

(5) 花き（消費者ニーズに対応した花きブランド産地の育成）

●最近の情勢（作付面積）

- ① 令和5年産の花き（切花類，球根類，鉢物類，花き苗類，芝，地被植物類）の作付面積は870haで，前年から微増となっています。
このうち切花類は，433haで全体の約50%を占めています。
- ② 本県は，全国有数の花き生産県であり，ソリダゴ，グラジオラスは全国1位，レザーリーフファン，観葉植物は全国2位，キクは全国4位の作付面積を誇っています。

●農業産出額

令和5年は127億円で，農業産出額全体の2.3%となっています。

●今後の推進方向

施設化・省力化による経営の安定化を図るとともに，キク類やテッポウユリ等に加え，需要の拡大が見込まれる収益性の高い品目・品種の導入を推進します。

また，「フラワーコンテスト」，「フラワーフェスタinかごしま」の開催や，「フラワーパークかごしま」における各種イベント等を通じて，県産花きの需要喚起と消費拡大に努めます。

品目別作付面積等(令和5年産)

品目名	作付面積(ha)	出荷量(千本)	主要産地
キク	180	56,773	枕崎市，和泊町，鹿屋市
ユリ	29	5,720	和泊町，知名町，鹿屋市
観葉植物	44	1,205	指宿市，南九州市，鹿児島市
ソリダゴ	37	19,808	和泊町，知名町，与論町
グラジオラス	44	3,512	和泊町，知名町，指宿市
レザーリーフファン	11	3,557	南種子町，中種子町，西之表市

資料：県農産園芸課調べ

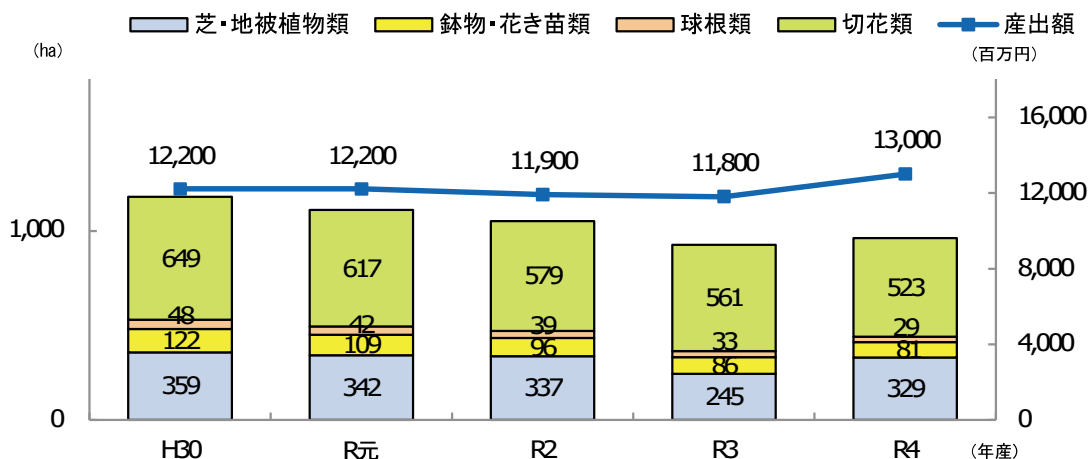


令和6年度鹿児島県フラワーコンテスト



フラワーフェスタinかごしま2025

作付面積・産出額の推移



資料：花き生産出荷統計調査，花木等生産状況調査

(6) さとうきび（「さとうきび増産計画」の達成に向けた取組の推進）

●最近の情勢（収穫面積、生産量）

- ① 令和5年産の収穫面積は9,502haで、本県南西諸島の約6割の農家が生産している基幹作物となっています。
- ② 令和5年産は、一部の地域において台風等による気象災害の影響があったものの、県全体としては概ね順調に生育が進んだことから、生産量は約52万t（平年比98%）、また、10a当たりの収量も、5,436kg（平年比99%）となりました。
- ③ 鹿児島・沖縄両県の生産量は約118万tで、約4割が本県で生産されています。

●農業産出額

令和5年は137億円で、農業産出額全体の2.5%となっています。

●主要産地

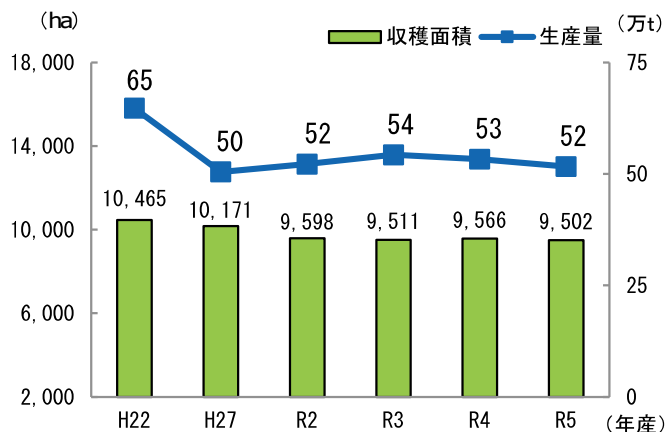
種子島、奄美地域となっています。

製糖（分みつ糖）工場は、種子島に1工場（1社）、奄美地域の5島に6工場（5社）あり、さとうきび生産量の99%が分みつ糖用に利用されています。

●今後の推進方向

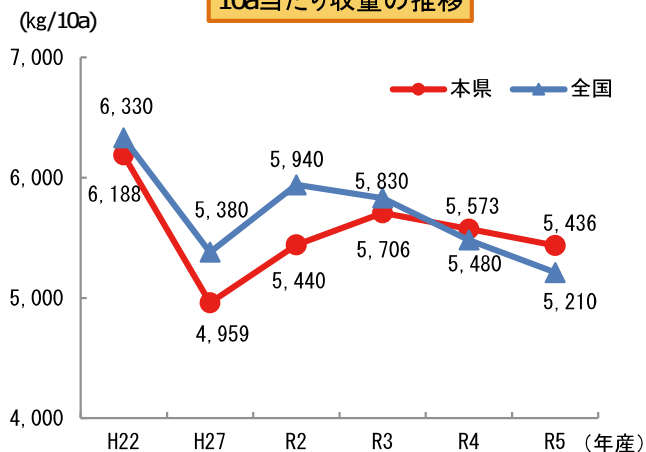
さとうきびの収穫面積の確保や単収向上などを図るため、農作業受託組織等の育成や、堆肥投入等による土づくり、優良品種の育成・普及等に取り組めます。

収穫面積・生産量の推移



資料：農産園芸課調べ

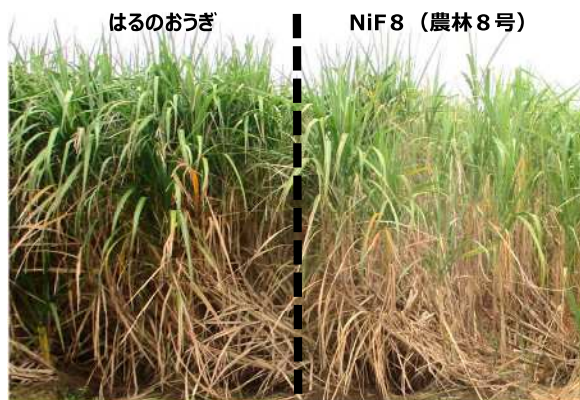
10a当たり収量の推移



資料：作物統計、農産園芸課調べ



小型ハーベスタによる収穫



種子島で普及が進む「はるのおうぎ」（左）
（特徴：株出し萌芽性が優れ、多収）

(7) 茶（強みやポテンシャルを生かした「儲かる茶業経営」の実現）

●最近の情勢（栽培面積、生産量）

- ① 令和6年産の栽培面積は8,150haで、全国的に減少する中、本県においてはほぼ横ばいで推移しています。
- ② 令和6年産の荒茶生産量は、前年比3%増の27,000tで、初めて全国第1位となり、全国シェアの約37%を占めています。
- ③ 全国茶品評会において、21年連続の「産地賞」や、「農林水産大臣賞」を受賞するなど、品質もトップレベルにあります。
- ④ 抹茶の原料となるてん茶やドリンク原料茶など、需要に対応した茶づくりが進んでいます。また、多様な品種が栽培されています。
- ⑤ 令和5年度の有機栽培面積は、799ha（うち有機JAS認証624ha）であり、有機JAS認証面積は、令和元年度以降全国一を誇っています。

●農業産出額

令和5年は214億円で、農業産出額全体の3.9%となっています（静岡県：223億円）。

●主要産地

茶は、県内各地で栽培されており、温暖早場地帯、畑作平坦地帯、山麓傾斜地帯など、立地条件を生かした特色ある茶づくりが進んでいます。

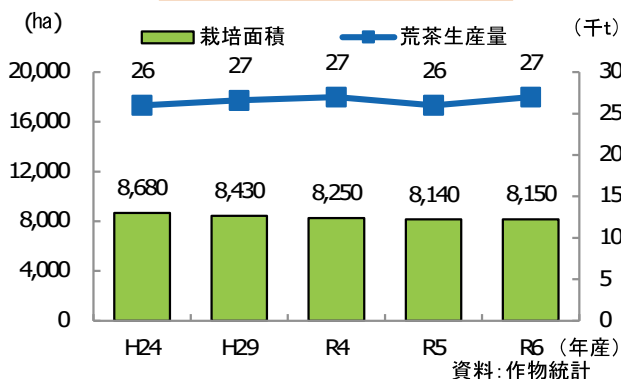
●輸出状況

本県の茶の輸出額は、米国、EU、台湾を中心に令和5年度が約32.6億円（前年比244%）で、輸出量は1,731.2t（前年比204%）となっており、着実に伸びています。

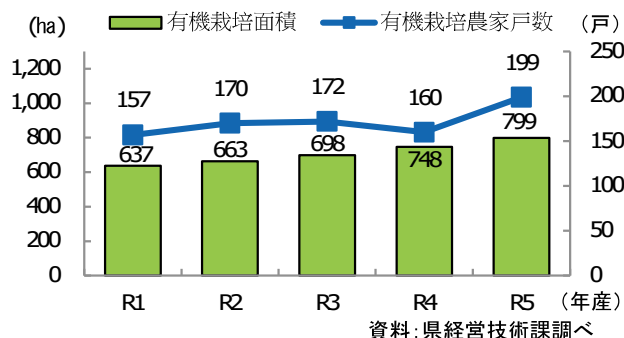
●今後の推進方向

大型管理機械の導入による高い生産性、輸出に向けた有機JAS認証取得の推進や抹茶加工施設の整備支援など、本県茶業が有する強みやポテンシャルを生かし、生産体制の強化、ニーズに対応した茶づくり等による付加価値向上や更なる消費拡大など、「儲かる茶業経営」の実現に向けて取り組みます。

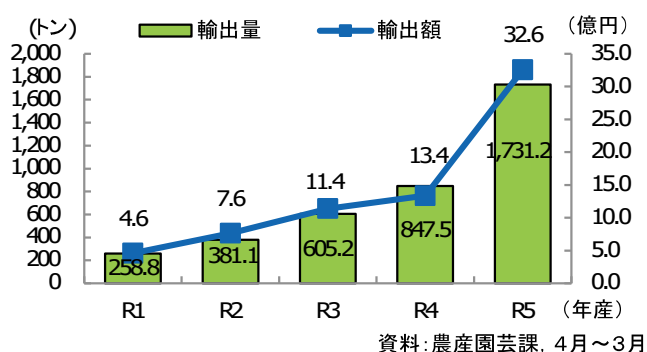
栽培面積・荒茶生産量の推移



茶の有機栽培面積・農家戸数の推移



茶の輸出額・輸出量の推移

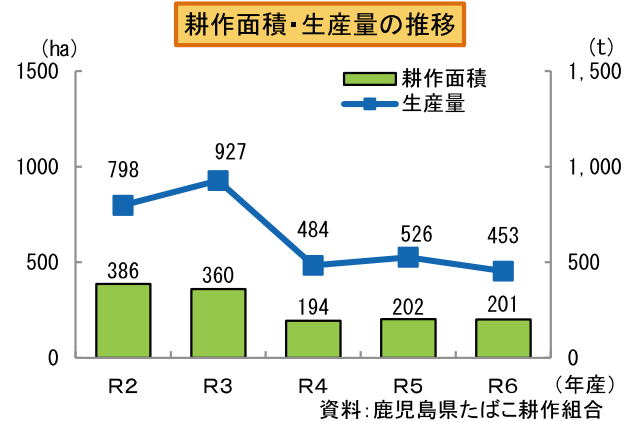


大規模で効率的な生産が進む本県茶業

(8) 葉たばこ（低コストで高品質な葉たばこづくり）

●最近の情勢（耕作面積、生産量）

- ① 令和6年産の耕作面積は、201haと前年とほぼ同等で、1戸当たりの耕作面積は2.17haとなっています。
- ② 令和6年産は、6月から7月の大雨による冠水や病害等の被害が見られたことから、生産量は453t、10a当たり収量は225kg（前年比86%）と低かったものの、Aタイプ率は86%（前年比139%）と前年を上回る結果となりました。



●農業産出額

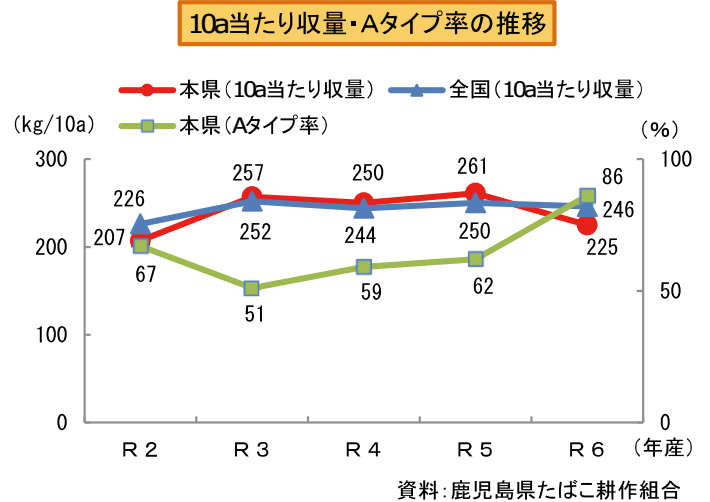
令和5年産は約11億円で、全国第7位となっています。

●主要産地

南薩地域、北薩地域、大隅地域、種子島、沖永良部島などです。

●今後の推進方向

担い手の育成や、高単収・高品質な葉たばこ生産の推進など、関係機関・団体と一体となって取り組みます。



高単収・高品質な葉たばこ生産



葉たばこの乾燥作業

(9) 肉用牛（生産基盤の維持拡大による安定供給）

●最近の情勢（飼養頭数・戸数、出荷頭数）

- ① 令和6年の飼養頭数は、362,700頭で、全国の13.6%を占めています。また、肉用牛の中でも肉質の優れた黒毛和種の飼養頭数は350,100頭で、全国第1位となっています。
- ② 令和6年の飼養戸数は、5,980戸（対前年比94.2%）となっています。
- ③ 令和6年の子牛の出荷頭数は、91,218頭となっています。

●農業産出額

令和5年は1,208億円（対前年比98.4%）で、農業産出額全体の22.2%となっています。

●主要産地

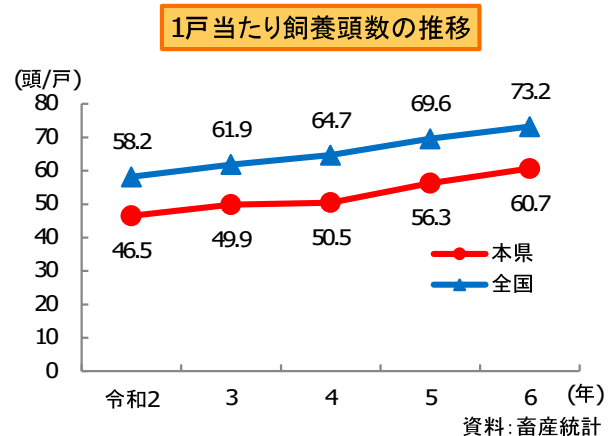
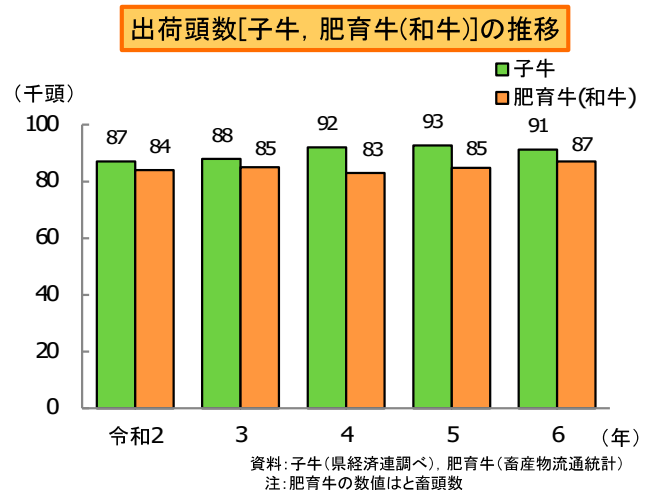
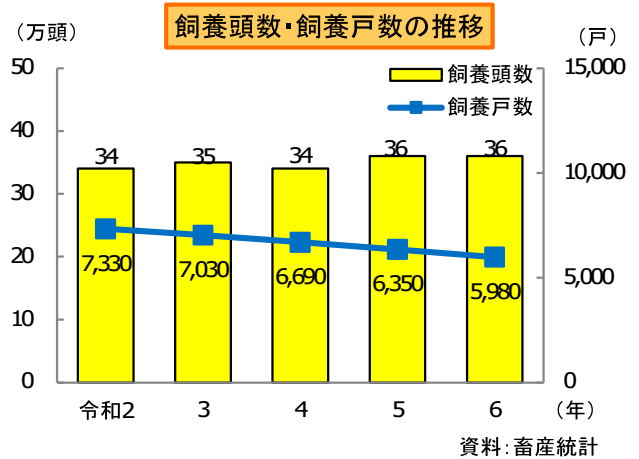
肉用牛は、県内各地で飼育され、主要産地は、大隅地域、大島地域などとなっています。

●今後の推進方向

- ① 肉用牛の生産基盤の維持・拡大を図るため、県や関係機関・団体からなる「肉用牛振興協議会」が中心となり、統一した指導体制のもと、担い手となる経営体の育成や、畜舎等の整備、自給飼料の増産を支援することにより、段階的な規模拡大を推進します。
- ② 専業農家の更なる規模拡大と小規模・高齢農家の経営継続を図るため、ヘルパーやコントラクター等の支援組織の利用やICT等を活用した飼養管理作業等の分業化・省力化を推進します。
- ③ 遺伝子解析等の手法を活用した優良種雄牛の造成等や、これらの遺伝的能力に対応した飼養管理技術の開発を推進します。
- ④ 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の成果を踏まえ「和牛日本一」を前面に打ち出し、「鹿児島黒牛」のPRとブランド力の強化を図ります。



雄大な自然に育まれた「鹿児島黒牛」



(10) 乳用牛（高品質な生乳の安定供給）

●最近の情勢（飼養頭数・戸数、生乳生産量）

- ① 令和6年の飼養頭数は12,000頭（対前年比93.8%）で、減少傾向で推移しています。
- ② 令和6年の飼養戸数は131戸で、減少傾向で推移しています。
- ③ 令和6年の1戸当たりの飼養頭数は91.6頭で、多頭化が進んでいます。
- ④ 令和6年の生乳生産量は65,984 tとなっています。

また、令和5年の用途別処理量は、飲用向け67.9%、乳製品向け31.7%となっています。

●農業産出額

令和5年は96億円（対前年比98.0%）で、農業産出額全体の1.8%となっています。

●主要産地

大隅地域、熊毛地域、南薩地域などとなっています。

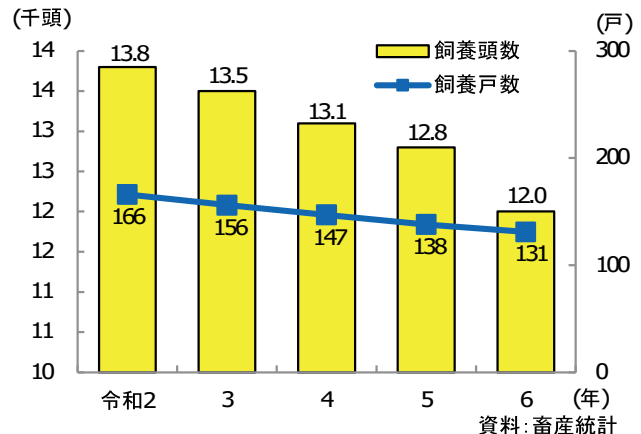
●今後の推進方向

- ① 需要に見合った計画生産を基本として、酪農経営の安定向上を図ります。また、乳用牛群検定による個体管理、性別別精液や受精卵移植技術等の活用による優良後継牛の確保、搾乳牛の維持・増頭、夏期需要期の生乳生産の促進及び供用年数の延長による生涯生乳生産量の向上を推進します。
- ② 酪農ヘルパーやコントラクター等の支援組織の利用や、自給飼料の増産、育成預託の推進、ICT技術の活用等による飼養管理作業等の分業化・省力化を推進します。

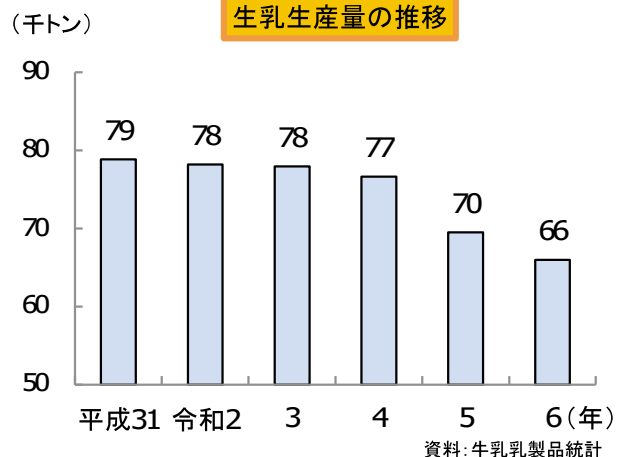


放牧で育成された乳用牛

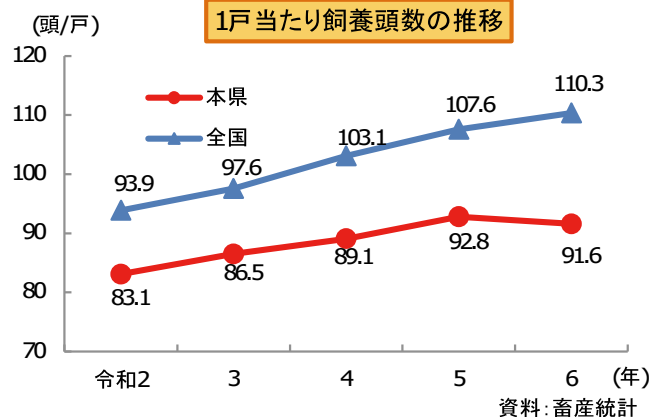
飼養頭数・飼養戸数の推移



生乳生産量の推移



1戸当たり飼養頭数の推移



(11) 豚（高品質な豚肉の安定供給）

●最近の情勢（飼養頭数・戸数、出荷頭数）

- ① 令和6年の飼養頭数は120万頭（対前年比104.1%）で、全国第1位となっています。
- ② 令和6年の飼養戸数は387戸で、年々減少しています。
- ③ 令和5年の県内の肉豚出荷頭数（と畜頭数）は、255万頭（対前年比96.4%）で全国第1位となっており、うち県産黒豚は24万頭となっています。

●農業産出額

令和5年は910億円（対前年100.1%）で、農業産出額全体の16.7%となっています。

●主要産地

養豚団地は、各地に形成されていますが、主要産地は、大隅地域などとなっています。

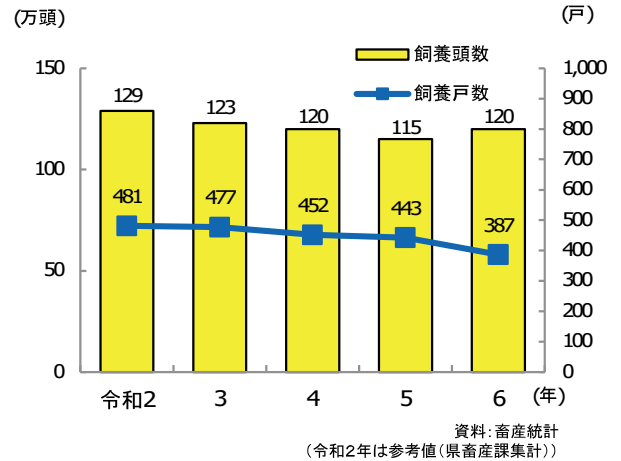
●今後の推進方向

- ① 競争力のある経営体の育成と高品質な豚肉の低コスト生産を推進するため、かごしま黒豚の種豚の改良や飼養管理施設等の整備を進めるとともに、飼養衛生管理技術の向上に努めます。
- ② 「かごしま黒豚」の一層の銘柄化を図るため、系統豚「ニューサツマ」、「サツマ2001」、「クロサツマ2015」の利用を推進するとともに、第5系統豚の造成を進めます。

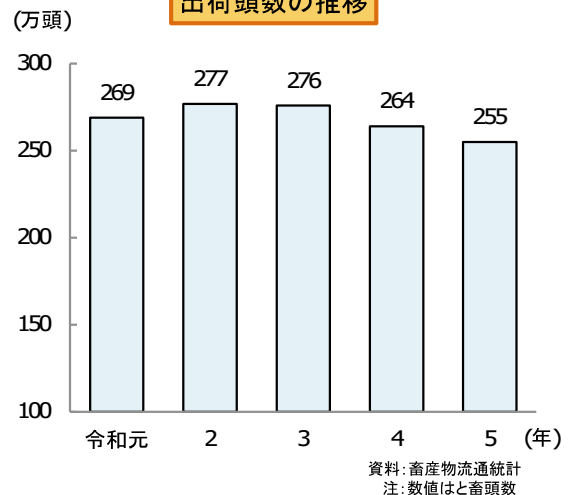


第4系統豚「クロサツマ2015」
（平成27年11月認定）

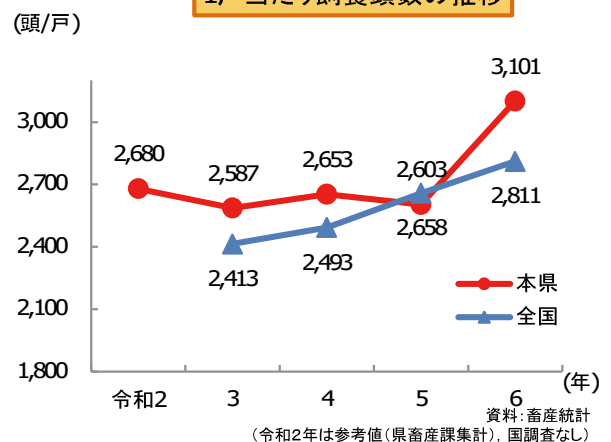
飼養頭数・飼養戸数の推移



出荷頭数の推移



1戸当たり飼養頭数の推移



(12) 採卵鶏（安全で新鮮な鶏卵の安定供給）

●最近の情勢（飼養羽数・戸数、鶏卵出荷量）

- ① 令和6年の飼養羽数は10,196千羽（対前年比88.0%）となっています。
- ② 令和6年の飼養戸数は98戸となっています。
- ③ 令和5年の鶏卵生産数量は169,898t（対前年比94.7%）で、全国第1位となっています。

●農業産出額

令和5年は439億円（対前年比138.9%）で、農業産出額全体の8.1%となっています。

●主要産地

主要産地は、大隅地域、北薩地域、南薩地域などとなっています。

●今後の推進方向

安全・安心、高品質な鶏卵の低コスト生産や飼養衛生管理技術の向上、生産性の高い鶏舎や鶏卵処理施設等の整備を推進します。

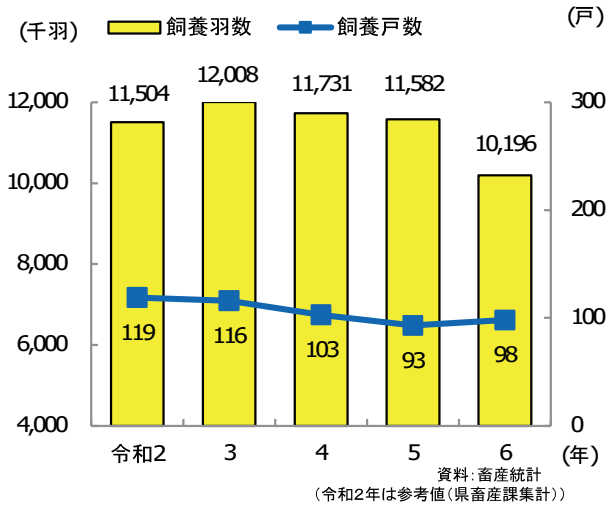


安全で高品質な鶏卵の生産

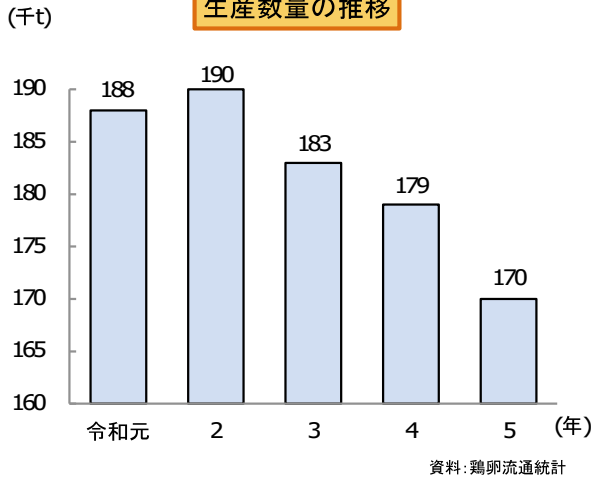


鶏卵処理施設

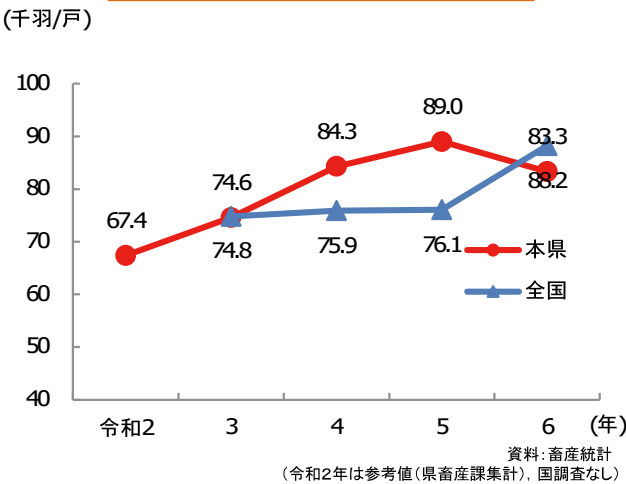
飼養羽数・飼養戸数の推移



生産数量の推移



1戸当たり成鶏めす飼育羽数の推移



(13) 肉用鶏（消費者ニーズに対応した鶏肉の安定供給）

●最近の情勢（飼養羽数・戸数，出荷羽数）

- ① 令和6年の飼養羽数は32,003千羽（対前年比102.3%）となっています。
- ② 令和6年の飼養戸数は402戸となっています。
- ③ 令和5年の出荷羽数は159,696千羽（対前年比100.4%）で、全国第1位となっています。

●農業産出額

令和5年は1,067億円（対前年比120.0%）で、農業産出額全体の19.6%となっています。

●主要産地

主要産地は、大隅地域などとなっています。

●今後の推進方向

安全・安心、高品質な鶏肉生産や飼養衛生管理技術の向上を推進するとともに、県が開発した「かごしま地鶏」（「さつま若しゃも」、「さつま地鶏」、「黒さつま鶏」）のブランド力向上を図るため、飼料用米給与体系を取り入れた飼養マニュアルの活用による肉質向上や県産地鶏の認知度向上に向けた取組を推進します。



さつま地鶏 商標

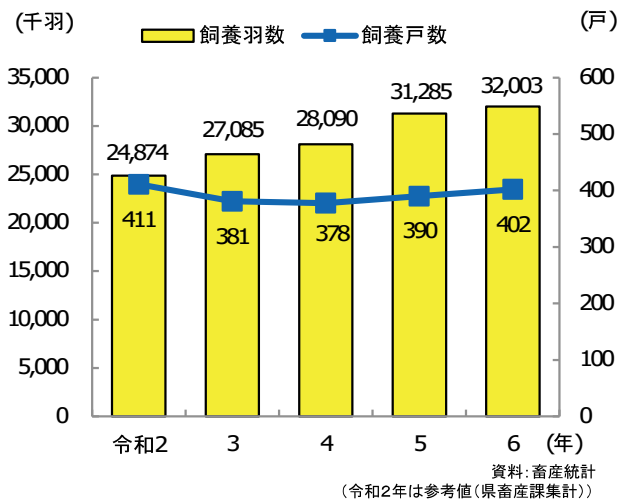


黒さつま鶏 商標

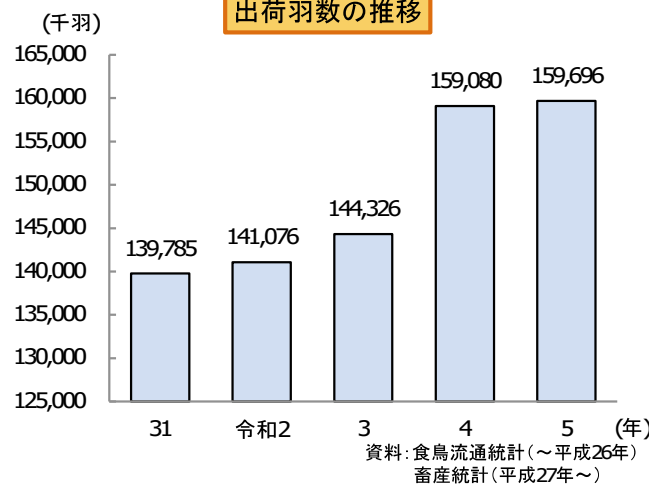


黒さつま鶏

飼養羽数・飼養戸数の推移

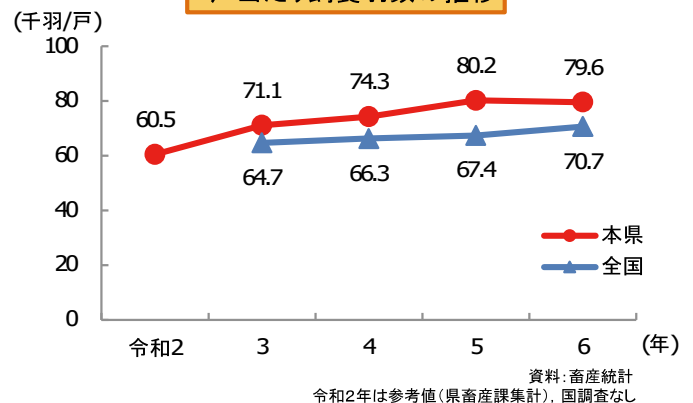


出荷羽数の推移

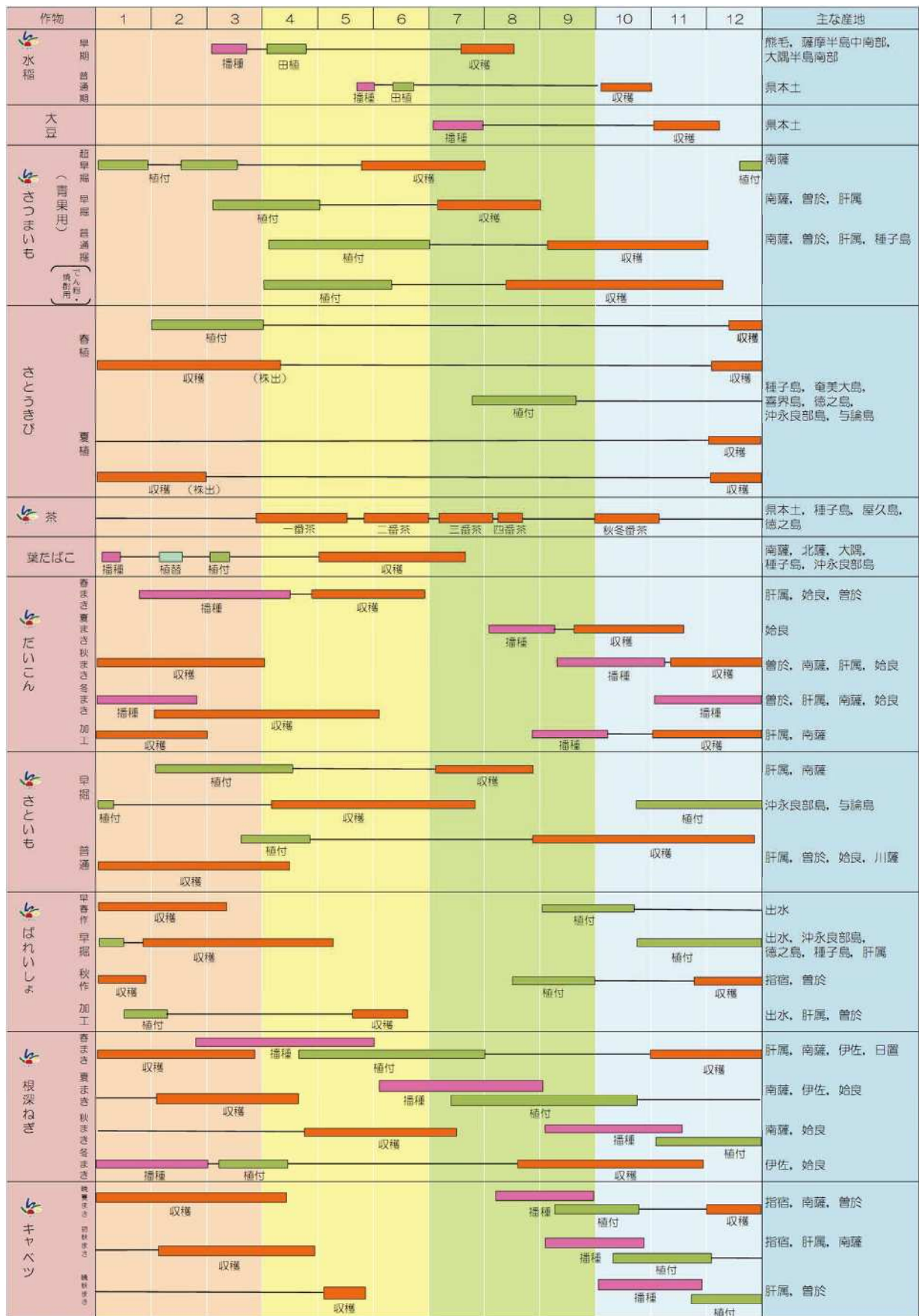


品目別の生産動向

1戸当たり飼養羽数の推移



V 作物カレンダー



作物		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な産地
はくさい	普通								播種		播種	収穫		曾於, 肝属
	冬まき		播種	播種	播種								播種	始良
メロウ	普通								播種		播種	収穫		肝属, 始良
	秋まき									播種		播種	収穫	種子島, 肝属, 出水
にんじん	普通												播種	肝属, 始良
	秋まき												播種	南薩, 指宿, 肝属, 曾於
こぼろ	普通												播種	曾於, 肝属
	新												播種	肝属
	若												播種	肝属, 曾於, 川薩, 伊佐, 始良
	若												播種	肝属, 曾於
かぼちゃ	半促成												播種	南薩, 曾於, 肝属
	早熟												播種	指宿, 鹿児島, 伊佐, 大島, 出水
きゅうり	促成												播種	指宿, 南薩, 肝属, 曾於
	半促成												播種	肝属, 曾於
さやえんどう	促成												播種	肝属
	半促成												播種	曾於
さやいんげん	促成												播種	肝属, 出水, 南薩
	半促成												播種	指宿, 肝属, 種子島
そらまめ	普通												播種	肝属
	冬まき												播種	肝属
ピーマン	促成												播種	肝属, 与論島
	半促成												播種	肝属
オクラ	普通												播種	肝属
	冬まき												播種	肝属
いちご	促成												播種	肝属, 出水, 南薩
	半促成												播種	曾於, 日置, 川薩, 出水, 始良, 南薩
みかん	普通												播種	曾於, 出水, 日置
	冬まき												播種	出水, 日置, 川薩
紅甘夏	普通												播種	出水
	冬まき												播種	出水
ほんかん	普通												播種	出水
	冬まき												播種	出水

作物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な産地
たんかん													鹿児島, 奄美大島, 南薩
（大知事） ハウス 露地													出水, 日置, 曾於 出水, 南薩, 日置
きんかん													川薩, 南薩 南薩, 川薩
びわ													大隅, 鹿児島 鹿児島, 大隅, 出水
紀州みかん （小みかん）													鹿児島, 始良
マンゴー													曾於, 指宿, 大隅 奄美大島, 徳之島, 沖永良部島
辺塚 だいたい													大隅
フルーツ パッション													曾於, 指宿, 大隅 奄美大島, 鹿児島
キク	秋タイプ												南薩, 大隅, 指宿, 曾於
キク	春秋タイプ												
キク	秋タイプ												南薩, 指宿, 大隅, 曾於, 沖永良部島
キク	春秋タイプ												
ソリダゴ	10・11・5月出揃												日置, 沖永良部島, 与良島
ソリダゴ	11・3・6月出揃												
ソリダゴ	12・4・7月出揃												
ソリダゴ	8・11・3月出揃												
テッポウユリ	超促成												沖永良部島, 南薩, 大隅
テッポウユリ	促成												
テッポウユリ	半促成												
リーフマン	春植え												種子島
リーフマン	秋植え												

リレー出荷体制の確立

本県では、南北600kmの地理的条件を生かし、特産野菜のリレー出荷を行っています。

[illegible]

VI 農政の推進体制

1 農政部予算総括

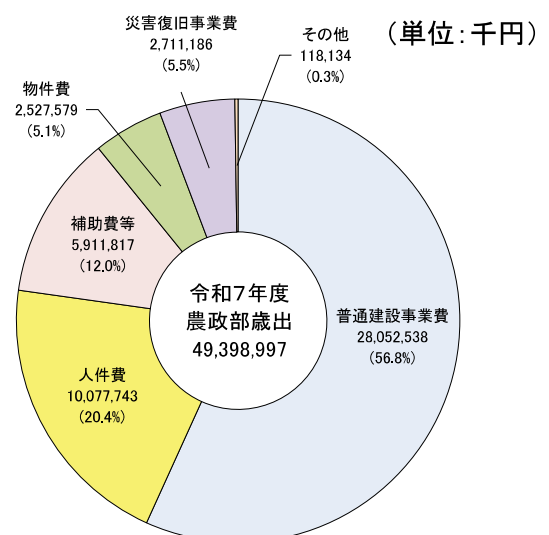
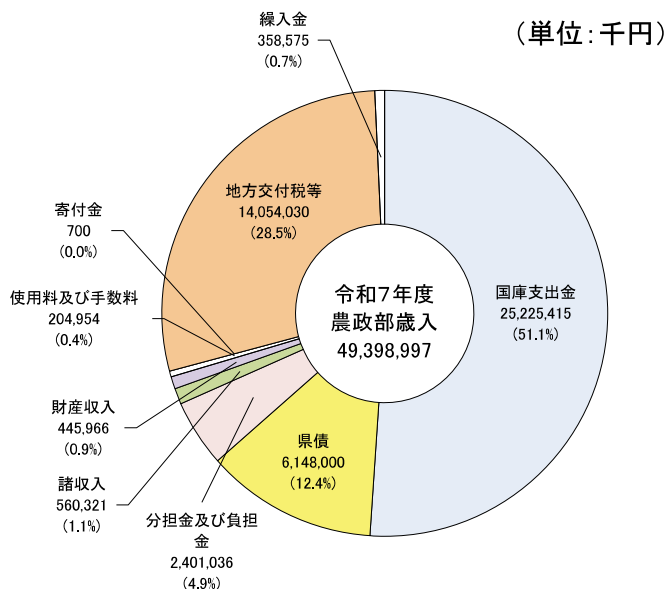
【農政部】

(単位:千円, %)

区 分			令和 7 年 度 当 初 (千 円)	令和 6 年 度 当 初 (千 円)	伸び率 (%) (R7/R6)
一 般 会 計	農 林 水 産 業 費	農 業 費	15,099,902	14,394,478	104.9
		畜 産 業 費	7,460,296	10,633,271	70.2
		農 地 費	24,030,800	23,911,932	100.5
		小 計	46,590,998	48,939,681	95.2
	災 害 復 旧 費		2,807,999	2,744,535	102.3
	計		49,398,997	51,684,216	95.6
	うち 公 共 事 業		24,362,106	24,334,411	100.1
	うち 県 単 公 共 事 業		322,479	322,479	100.0
特別 会計	就農支援資金貸付事業		24,814	48,791	50.9
合 計			49,423,811	51,733,007	95.5

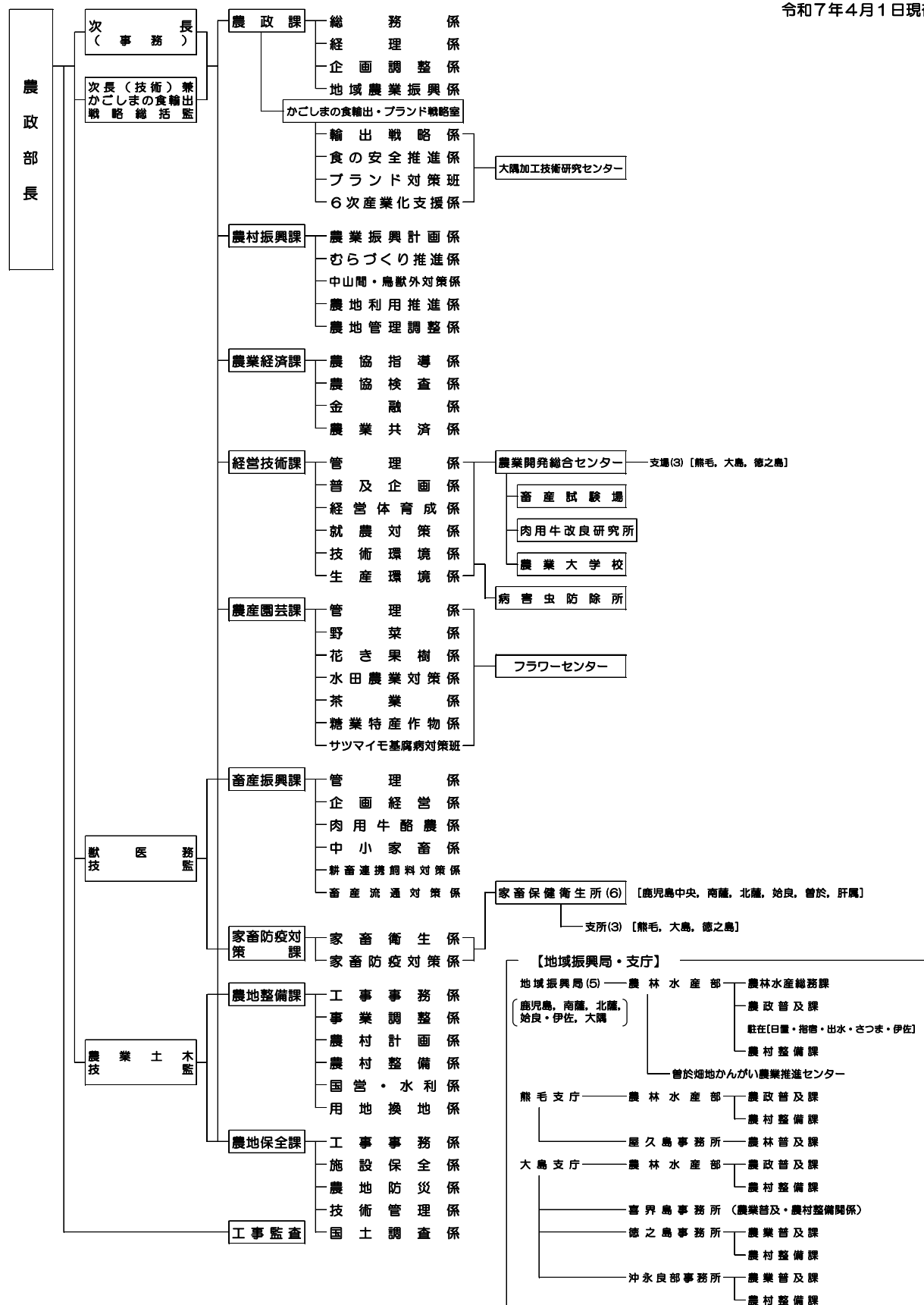
令和7年度一般会計
《歳入予算の状況》

令和7年度一般会計
《歳出予算の状況》



2 農政部機構図

令和7年4月1日現在



技術を生み出し、
人を育てる

令和7年4月 開設10周年

大隅加工技術研究センター

県産農産物の付加価値向上に向けた栽培・流通貯蔵・加工技術の研究開発に取り組んでいるほか、施設の開放などにより食品事業者等が自ら行う加工品開発の支援等を行っています。



アクセス



お問い合わせ

〒893-1601
鹿屋市串良町細山田4938番地
TEL 0994-31-0311
FAX 0994-31-0319



URL <http://www.osumitaku.com/>

E-mail kagiken@pref.kagoshima.jp

- 鹿児島市内から桜島フェリーまたは鴨池フェリー経由、車で約100分
- 鹿児島市内から九州縦貫自動車道・東九州自動車道・大隅縦貫道細山田IC経由、車で約90分
- 鹿児島空港から九州縦貫自動車道・東九州自動車道・大隅縦貫道細山田IC経由、車で約75分
- 志布志港から東九州自動車道・大隅縦貫道細山田IC経由、車で約30分

ゆっくり楽しむ花の国
花・風・光の自然浴

フラワーパークかごしま

東には錦江湾のきらきら光る海。西には美しい姿でそびえる開聞岳。太陽の光とさわやかな潮風の香に包まれた「花・風・光のシンフォニー」をテーマとした植物公園です。（平成8年5月オープン）

県民が花と緑に親しむ憩いの場として、また、花の生産と観光の振興に寄与する施設として四季折々の花が楽しめます。

場所



お問い合わせ

〒891-0513
指宿市山川岡児ヶ水1611番地
TEL 0993-35-3333
FAX 0994-35-3555
URL <http://www.jp-kag/>



令和7年3月発行 ■ 編集発行 鹿児島県農政部農政課
鹿児島市鴨池新町10番1号
電話 099-286-3091 FAX 099-286-5587
URL <http://www.pref.kagoshima.jp/>